

家庭科1年・家庭基礎(2単位)

目標

- 1、生活のしくみと現実を、個人の生活内にとどまることなく、地域や社会、歴史的な変化を含めた総合的なとらえ方ができるようにする。
- 2、身近な生活の中から課題を見つけ、問題解決のために、あらゆる方面から情報を収集し分析する能力を養う。
- 3、実践的な学習を、実際の生活の場で活かせるようにする。
- 4、自分の人生や共に生きる人々との生活が、よりよいものとなるための真摯な努力ができるようにする。

学習概要

- ・生活のいろいろな現象・課題をワークショップ形式で考える。まず、自分での考えをまとめて発表し、それぞれの意見を共有し、よりよい解答を導き出す。その意見を班でまとめ全体で発表する。また、1/2以上は実験実習の授業である。多くの体験学習を通して自立した生活が営める自分を育てる。
- ・集約した自分の意見を発表する機会が多くある。(プレゼンテーション能力を切磋琢磨する)

使用教材

- 教科書 新家庭基礎21(実教出版)
- 副教材 2009改訂版 生活ハンドブック資料・成分表(第一学習社)
- プリント類

授業形式

講義・演習形式・実験・実習等多様な形態をとる。

家庭学習

新聞を読む。あたりまえの日常生活を丁寧にごす(暮らしの主人公であって欲しい)。このことが家庭科の学習において大切な家庭学習である。

評価

前・後期末考査授業で活用しているワークシート等や提出物。さらには授業の取り組みなどを、4つの観点(1、関心・意欲・態度 2、思考・判断 3、技能・表現 4、知識・理解)から評価規準を作成し、総合的に評価する。

年間授業計画

	月	学習單元	学習内容	備考
前期	4	◎ 人生を拓く 自立して生きる	自分を見つめる	
	5	ささえあって生きる	家族とは何？ 家族法クイズ	ワークショップ
	6	◎ 生命を育てる 豊かな発達を求めて	命を育む・親と子・子どもを取り巻く環境	お母さんと子どもにインタビューしよう (交流実習のみ後期に実施)
	7	◎ 高齢社会を生きる	高齢者の暮らし 高齢者を支える社会のしくみ	高齢者の方のお話を聞く
	8	夏季課題	府立介護実習・普及センターへ行く	
	9		よりよく生きるためにはどうしたらいいだろう？ 現代日本の抱える問題を生活者の視点で捉えてみる	調査研究 グループ発表
	前期末考査			
後期	10	◎ よりよい生活を創る 楽しく食べる	食生活の管理と健康 日本人は何を食べてきた？	調理実習の後、まとめとしてフードマイレージから食育を考える
	11		日本の食の問題 何をどれだけ食べたなら？	
	12		日本の行事食	お正月を科学する 調査研究
	1	自分らしく着る	何をどう着るのか	似合う色とは？
	2	人間らしく住む	暮らしの器	住宅広告を読む
	3	◎ 消費社会を生きる	賢い消費者になる 成熟した社会とは(共生経済について考える)	
	後末考査			

ホームプロジェクトは夏期・冬期休暇中に実施する。